



●ご挨拶

「手稲開村 150 年」の意義ある年を迎えて

手稲郷土史研究会 会長 永井道允



令和4年度の手稲郷土史研究会の活動が、いよいよ始まります。「定期総会」は新型コロナウイルスの感染拡大の影響などを考慮し書面審議という変則的な形を取らざるを得ませんでした。諸般の事情をご理解願います。

さて、コロナ禍に翻弄された令和3年度の活動は、会場の確保ができず、四度も定例会が中止になるという事態に追いこまれました。さらには多くの会員が楽しみにしていた「日帰り研修旅行」も実施ができませんでした。そのような条件下にありながら、担当各部の努力により会報『郷土史ていね』を発行し続けてきたことは、“研究活動の継続”という大きな意味があったと思います。関係された方々にお礼を申し上げます。

手稲の歴史をひもときますと、明治5（1872）年、伊達藩の白石城主 片倉小十郎邦憲の家臣団が上手稲（現在の西区西町～宮の沢付近）に移住したことをもって、「テイネ」命名＝手稲の始まりとしています。その150年後の本年は、記念すべき節目にあたります。私たち手稲郷土史研究会では、この“手稲村の誕生”について手稲区民はもちろんのこと、より多くの皆さんに知っていただきたく、JR手稲駅の自由通路「あいくる」において、10月下旬にパネル展を開催する予定です。また、10月と12月の定例会は会員限定ではなく公開講座として、関心をお持ちの方々に広く聴講を呼びかけてまいりたいと考えています。会員の皆さまのお力添えをいただきたく、お願い申し上げます。



手稲区役所 歴史資料展示コーナー

令和4年度 定例会 研究発表予定表

開催日時	内容（仮題）	発表者	
5月11日(水) 18:15	シベリアの凍土に逝きし亡父のあしあと	鈴木清士	手稲郷土史研究会 会員
6月8日(水) 18:15	「妙行寺」(富丘)の誕生について	中島千恵子	手稲郷土史研究会 会員
7月13日(水) 18:15	「手稲鉾山」の名付け親・石川貞治 — 子孫が語る その知られざる足跡	石川成昭氏 高張稔晴氏	石川貞治氏 ご子孫
8月10日(水) 18:15	地域基幹病院の役割～手稲溪仁会病院	(講師未定)	
9月14日(水) 18:15	わが波乱万丈の人生を振り返って	平木重雄	手稲郷土史研究会 会員
10月15日(土) 13:30	古生物学からみた手稲 ※公開講座	古沢 仁氏	理学博士(専門:古脊椎動物学)
11月9日(水) 18:15	「富丘西公園」の生きものたち	菅原純子	手稲郷土史研究会 会員
12月10日(土) 13:30	手稲開村 150 年を思う ※公開講座	茂内義雄氏	郷土史家(元手稲郷土史研究会顧問)
1月11日(水) 18:15	北海道科学大学 百年史	(講師未定)	

\* 6月の会場は手稲区民センター 3階 第5会議室ですが、7月以降は未定です。直近の定例会でご確認ください。  
\* 10月および12月は、公開講座となります。また2・3月の研究発表については、後日、改めてお知らせします。

## 【つれづれ随想】 「前田森林公園」全面オープンから 30 年

はじめまして！ 4月から手稲郷土史研究会に入会いたしました、岡和田と申します。入会のきっかけは、以前 私が地域の情報をインターネットで発信する活動に携わっていた頃にさかのぼります。当時、“手稲の歴史”をテーマに広く情報を伝えたいと考え、調べているなかで、手稲郷土史研究会に出会いました。幾度か定例会に参加し、会員みなさんからさまざまなお話を伺っていくうちに、それまで知らなかった“手稲の歴史”が、「オモシロイ！ 楽しい！」ということに気づき、仲間入りさせていただこうと決めました。



前田森林公園内を走る著者  
〈平成6年撮影〉

手稲で生まれ、ほぼ手稲で育ってきた私。何か家に手稲に関する少し古いものはないかなと、写真アルバムを開いてみました。けれども幼い頃、私はすぐく出不精だったので、ほとんどが家の中で撮った写真ばかり…。しばらく探し続けて、『前田森林公園』で撮影したのを見つけました！ ぬいぐるみを持って走る幼い私（今や見る影もありませんが…笑）。ポプラ並木もなんだか幼く見えます。当時の記憶は全くありませんが、母の話によると撮影したのはおそらく、平成6（1994）年の夏。『前田森林公園』が全面オープンした平成4（1992）年からそれほど経ってはいない頃だと思われます。懐かしい写真を見て、再び『前田森林公園』へ足を運びたくなり、早春の公園に向かいました。

バスと徒歩で1時間ちょっと。『前田森林公園』のカナル（運河）に着くと、ポプラの剪定が行われていました。公園のポプラ並木は、カナルを挟むように整列しています。この並木は平成26（2014）年放送のNHK連続テレビ小説『マッサン』のロケ地にもなり、第80話に主人公がここを歩くシーンが登場します。ところが、平成30（2018）年9月の台風21号と「胆振東部地震」によって、多くのポプラが倒木の被害を受けました。その後、公園の管理スタッフやボランティアの方たちの尽力で並木は復活し、現在もカナルとともに公園の美しい名所、シンボルとして訪れる人々を楽しませてくれています。何もなかった荒地に植林し、造成した『前田森林公園』の開園は昭和62（1987）年8月1日ですが、施設の全面オープンは平成4（1992）年5月23日。令和4（2022）年で、30年を迎えます。手稲区民はもちろん、札幌市民にとっても憩いの場、人々の思い出を紡ぐ場としてこれからも長く愛されることでしょう。



カナル・ポプラ並木・展望ラウンジ  
〈平成6年撮影／祖母と筆者〉

私の手稲の歴史探究は、始まったばかり。研究会を通じてこれからもっと手稲の歴史を知り、探究していきたいと思えます！ 今後ともどうぞよろしく願いいたします。

岡和田 夢子（手稲郷土史研究会 会員）



★定期総会は書面審議に… 4月に予定されていた手稲郷土史研究会の『令和4年度定期総会』は諸般の事情から集合しての開催を中止とし、書面による審議を会員各位へお願いしました。結果は6月の定例会でご報告します。

★「昭和の手稲」の写真募集！ 「手稲開村150周年記念事業」の一環として10月下旬から開催予定の歴史パネル展で、“ちょっと昔の手稲”の写真を併せて展示します。ご家庭のアルバムの中に、昭和の街並や風俗が写っているものはありませんか？ 撮影年と撮影地に簡単な説明を添えて、当研究会広報部へ写真をお貸しください。ご協力のほどお願いします！

手稲郷土史研究会 会報「郷土史ていね」第171号 令和4年5月11日発行 発行責任者：永井道允（手稲郷土史研究会 会長） 編集責任者：菅原純子  
❖〒060-0808 札幌市北区北8条西3丁目 札幌エルプラザ 2階 札幌市市民活動サポートセンター レターケースNo. 277 手稲郷土史研究会  
❖メールアドレス kyoudoshi\_teine2005@yahoo.co.jp ❖TEL 090-3381-4994 〈担当：林〉